

## 「まもる」に属する施策についての質問・回答

No.	施策	質問	回答
4-1	防災対策等の強化	津波避難施設：29年度整備予定数は。構想段階、基本設計、実施設計段階に入っている箇所数は。	29年度整備予定数は4か所。 構想段階、基本設計では7か所の整備で検討していたが、1か所を高速道路施設駐車場の一部を利用する協定を締結することでネクスコと調整ができたため、実施設計では6か所の設計を行うこととした。
		本年度のBCP策定事業、津波避難計画の進捗状況（着手状況・体制、地区数）は。	BCPについては、7月31日に庁内検討会議第1回全体会を実施し、有識者による講演と策定に向けた基礎調査を実施する。 地区別津波避難計画については、2地区（渭東地区、住吉・城東地区）で策定予定であり、現在は両地区とも第1回役員会を終え、地区住民に検討すべき内容と策定までの流れについての説明を終えている。
4-2	消防・救急体制の充実	移動消防車の今年度の進捗状況は。	市内全小学校33校中、今年度実施予定は11校である。 現在3校実施済で、実施率については27%（3校／11校）である。 実施済校（福島小学校・加茂南小学校・北井上小学校）
		火災報知器の設置調査の方法は。 予算0円で実施するのか。	消防庁から示された住宅用火災警報器設置状況調査方法に基づき、市内23行政地区の各4～5世帯を無作為に抽出した96世帯を職員が訪問し、調査を実施している。 予算については0円である。
		防災ラジオの配布対象は。 配布効果の最大化を図る対象の絞り込みはあるのか。	防災ラジオの配布対象は徳島市に住民登録している市民及び徳島市内の事業所である。 防災ラジオの配布は市内全域を配布対象としており、配布対象の絞り込みはないが、今年度、一人暮らしの方や高齢者、土砂災害の危険性を有する地域へのさらなる普及を図るため、民生児童委員の皆様、自主防災組織の各会長へ防災ラジオの普及に関し、各地域における積極的な周知をお願いしたところである。
4-3	医療環境の充実	アウトカム指標を出してほしい。休日診療所の受診患者数、共同診療登録医のアンケート調査の結果から改善された事項、電子カルテの閲覧件数など。	H28徳島市夜間休日急病診療所患者数：17,324人 共同診療登録医のアンケート調査の結果から改善された事項：①原則救急を断らない。②共同診療登録医に本院電子カルテのパスワードを提供する。 共同診療登録医による電子カルテ閲覧件数：平成27年度10件、平成28年度41件、平成29年4～6月11件
5-2	住宅環境の整備	バリアフリー対応住宅建設戸数はストック値であるかフロー値であるか。	ストック値である。
5-4	上水道の整備	鉛製給水管の全数把握、解消完了目標は。	残存件数は9,832件（平成28年度末）である。配水管布設替工事や鉛製給水管取替工事助成制度により早期解消に努めている。
6-3	生活環境の向上	不法投棄通報件数にはパトロールによる発見件数も含まれるのか。	含まれている。

No.	施策	質問	回答
6-4	下水道の整備	河川・排水路の清掃について、参加者1名あたり4000円の経費（予算額73420千円、参加者17000人）に見合った成果があるのか、成果の確認方法はあるのか。	排水しゅんせつ費73,420千円は、本市管理の河川・水路等のしゅんせつや道路側溝のしゅんせつ清掃を行う全体の予算である。市民の方にお手伝いいただく一斉清掃については、ボランティアとしてのご協力の下、実施している事業であり、市では報奨金として一人あたり300円を支出している。従って、17,000人だと5,100千円になる。この予算も73,420千円に含まれている。 また、一斉清掃で発生した土砂は、市が集めて処分している。